

か どう ぜ き か い ら ん ば ん 可動堰回覧板

平成23年12月1日号 (No.77)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

11月23日、新可動堰への通水が行われました。通水式の様子は1月号でお知らせします。
今回は通水後の工事実施状況についてお知らせします。

通水後の可動堰改築事業について

11月に新可動堰への通水を迎えた可動堰改築事業は、次の工事段階へと進みます。12月からは、これまで新可動堰を建設してきた分水路の中央部分から、80年以上にわたって毎日が流れてきた右岸側へと工事の焦点が移ります。

まずは右岸部に大きく締切を造って水を抜き、新可動堰の右岸側管理橋の架設、高水敷（普段水の流れないところ）・護岸の整備や、旧可動堰の撤去などを行います。工事全体の完成は平成25年度末を予定しています。

12月までに施工済
12月以降施工予定



右岸高水敷造成に着手します



9月末に新しく「大河津可動堰改築 右岸高水敷造成工事」が契約となりました。本工事では平成24年から25年にかけて、大河津可動堰上流部の中洲部分や川底の土を掘削し、旧可動堰のある右岸側に移動させて高水敷を造ります。中洲部分を取り除くことで洪水時により多くの水を流せるようになり、また高水敷を造ることで右岸側の堤防を洪水から守れるようになります。本工事は、9月号で紹介した「上流護岸工事」・11月号で紹介した「管理橋下部工事」と連携して進めます。

工事担当者からのごあいさつ

この度、新可動堰への通水に伴い、「大河津可動堰改築 右岸高水敷造成工事」を担当することになりました株式会社大林組です。80年の長きにわたり、越後平野の暮らしと安全を守り続けた大河津分水の改築事業に参加することができ、大変名誉に感じております。私どもは、河道切替え後の右岸側堤防本体を守るための高水敷の造成を行います。造成には、中洲や川底の土砂を取って使用します。工事中は地域の皆様方にご不便をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いします。



監理技術者：中本道良 現場代理人：松田誠治

大河津分水完工80年フォーラムが開催されました

旧可動堰が完成してから80年。新可動堰への通水を迎えた本年11月10日、新潟県民会館で「大河津分水完工80年フォーラム」が開催されました。新潟市・篠田市長、燕市・鈴木市長も参加し、大河津分水が果たした役割や、地域防災の在り方、次世代に向けての課題などが話し合われました。また、大河津資料館の館長を長年勤めた五百川先生も、地域を守る大河津分水の歴史と魅力について熱弁をふるわれました。



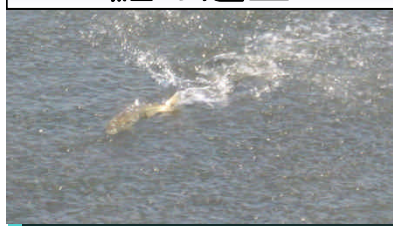
自らの経験も踏まえて防災の在り方を話し合う新潟市長・燕市長ら



大河津分水の魅力を語る五百川先生（元大河津資料館館長）

大河津だより

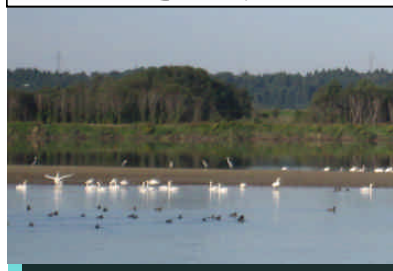
鮭の遡上



8月下旬から12月頃まで、信濃川を鮭が遡上します。最盛期は10月で、信濃川下流（洗堰）からの遡上数は1日306匹が確認（10月6日調査）されるなど、今年もたくさんの鮭の遡上がみられました。

鮭の遡上数は河川の水量によっても異なるようです。分水路では10門の旧可動堰ゲートのうち1門だけ開く程度の水量の時に鮭がたくさん遡上しました。新可動堰には様々な流れの速さに対応した6本の魚道が設置されていますので、今後は鮭などのさらなる遡上・降下が期待されます。

白鳥の来訪



10月末に可動堰上流で約70羽の白鳥の飛来が確認されました。大河津分水周辺では白鳥と鴨の仲間を中心に、約30種類の冬鳥がみられます。

大河津分水に白鳥が飛来する理由は三つあります。一つ目は、大きな信濃川が流れており外敵から襲われにくいこと。二つ目は、可動堰付近は流れが緩やかで、良い休憩場所となるため。三つ目は、周辺に稲の落ち穂などのエサを得られる水田が多いことです。

大河津分水で白鳥が見られるのは3月中旬までの、朝9時までと夕方15時以降が目安です。大河津資料館の開館日には、4階のガラス張りの屋内で観察することができます。

分水の清掃活動



10月から11月にかけて、「分水さくらを守る会」や「信濃川大河津資料館友の会」、市・県・国の職員などにより、桜の不要枝の剪定やクリーン作戦などが実施されました。ボランティアの皆さんの継続的な努力により、大河津分水桜並木では毎年4月においらん道中が催され、また堤防や分水公園にゴミがなく美しく保たれています。

大河津分水路完工80年を迎えた節目の本年、新可動堰が通水しました。こうした取り組みにより、新可動堰の通水後に訪れる皆様に気持ちよく過ごしていただけるものと思います。これからの80年、それ以降も、美しい河川景観や桜並木が受け継がれていくことでしょう。

大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧ください。また、バックナンバーも合わせてご覧ください。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134（平日AM9:00～PM4:00）

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121（建設監督官在所）
大河津出張所 : 大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官（可動堰改築担当）: 大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>